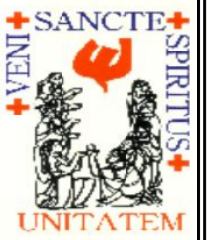


2013年1月1日 (第152号)
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp
広報: tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp
WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



マザー・テレサの言葉
わたしが、
イエスを
見つけねばならなかつた
たのではありません。
イエス様が、
わたしを
わたしを見つけて下さったのです。

カトリック高松教区報

諏訪榮治郎司教 年頭書簡



諏訪榮治郎司教

「信仰年」を生き続ける
新しい年を迎えました。
皆さま新年明けまして
おめでとうございます。

「船は舵を大きく切った」

広大な宇宙に浮かぶ
「宇宙船地球号」は今、
至る所でうめき声と涙が
流され、不安が充満して
いる状況です。

教皇ベネディクト16
世はこの年も「信仰年」
(2012年10月11日、
2013年11月24日)と
し、痛みと不安の中で祈
る私たちに第2ヴァチカ
ン公会議の精神と教えを
どのように受け止め歩む
のかを問いかけておられ
ます。

て記憶にあります。

「節目の年に希望」

それに応えるべく、第
1回福音宣教推進全国会
議(1987年)が開催
され「開かれた教会」へ
の模索と刷新の歩みに拍
車がかかり、今25年目の
途上にあります。また公
会議の30周年を記念して
「カトリック
教会のカテキ
ズム」が発表
されて20年にな
ります。

信仰年を歩む「対話する教会」



昨年(1987年)の第2ヴァチカン公会議(1962年10月〜1965年2月)の開幕から50年目に当たる年でした。カトリック教会という世界最大の船は舵を大きく切り変え、自己変革の着実な歩みを世界に示し続けている途上にあります。それは20世紀最大の出来事と云われています。



高松教区桜町司教座聖堂

高松教区設立50周年を迎えて

歴史上の偉大な霊的生の
活のリーダーたちはみな、
希望の人でした。アブラ
ハム、モーゼ、ルツ、マ
リア、シャルダン、そし
てマザーテレサ。これら
の人々はみな、未来がど
うなるかを正確に
知る事を必要としません
でした。彼らはただ心の
中に一つの福音の約束を
抱いて生き、その約束に
よって未来へと導かれて
いたのです。

「あなた」と呼ぶイエス
ヨハネ23世の第2ヴァチカン公会議への呼びかけは、従来の教えを繰り返すのではなく、現実の諸問題に奉仕する教会の現代化を考えたのでした。教会が福音の奉仕者となるための霊性を公会議は「対話の精神」としてい

「あなた」と呼ぶイエス
ヨハネ23世の第2ヴァチカン公会議への呼びかけは、従来の教えを繰り返すのではなく、現実の諸問題に奉仕する教会の現代化を考えたのでした。教会が福音の奉仕者となるための霊性を公会議は「対話の精神」としてい

ここに対話の精神が明らかに見えるのです。信仰と生活の中心である「父と子と聖霊の名による」という三位一体の神秘も、まさに対話の精神そのものを表します。御父と御子の永遠の交わりと愛の対話から私たちに追わされる聖霊は、まさに父と子の「対話」に私たちを招き入れ、神との一致を願う神の働きかけといえるのではないのでしょうか。(ロマ書8章15)

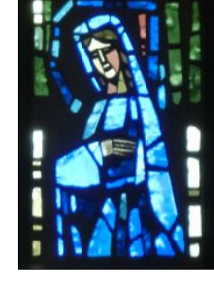
教会はキリストの体

洗礼によってキリストに結ばれた私たちはキリストの祭司職、預言職、王職(奉仕職)に招かれます。「神の民」とされます。「それゆえ尊厳性に於いても行為に於いても真に平等であり、それぞれ固有の立場と任務に応じて、キリストの体の建設に協働する」(教会法典208条)と述べられます。教会はキリストの体(交わり)としてあることが宣言されます。このことから信徒、修道者、司祭の協力、協働において宣教がなされるのは当然のことといえます。

「あなた」と呼ぶイエス
ヨハネ23世の第2ヴァチカン公会議への呼びかけは、従来の教えを繰り返すのではなく、現実の諸問題に奉仕する教会の現代化を考えたのでした。教会が福音の奉仕者となるための霊性を公会議は「対話の精神」としてい

苦しむ人の側で生きる

「御ことは肉となつて、私たちの間に宿られた」(ヨハネ福音書1章14) 神の御子が人間の歴史に介入され、慎ましく生まれたと言っています。



誰も気づかない谷間の
ような現実を生きている人々と同じ目線に立つことを神は望まれたと言っています。「現代人の喜びと希望、悲しみと苦しみ、とりわけ、貧しい人と全て苦しんでいる人々のものは、キリストの弟子たち苦しみと希望、悲しみと苦しみでもあるのです。この共同体は自ら人が類とその歴史とに、実際に深く結ばれていることを自覚している。」(現代世界憲章序)

司教と心ひとつに 全司祭と面談 秋の司祭集会

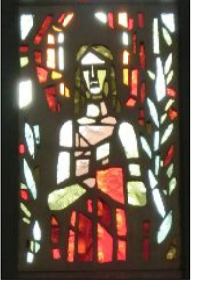
本部事務局長 西川康廣助祭

10月31日(水)、カトリック四国会館において秋の司祭集会が開催されました。高松教区で働く司祭・助祭・修道者、合わせて25名が参加しました。「信仰年開幕」(10・11)に当たり、まず司教団から司牧者へのメッセージ、「信仰年を迎えるにあたって、日本の教会の課題」(2012年10月11日)を全員で読み合わせした後、高松教区でいかに「信仰年」を生きるかについて意見交換しました。



よりそいホットライン 0120-279-338

腰を据えて霊的養成に専念準備できない。信徒も日曜日の家族の交わりの時間をもう少し大切にすることを、初めて福音宣教に繋げることが出来るのではないかと、意見や教会の現状に非常に危機感を感じるとい



神の愛の結晶として生命をいただいた一人一人の尊厳を大切にしよう、教会は対話の精神を通して社会に奉仕するよう招かれていきます。教会のみならず現代に生きる私たちがこの霊性、「対話の精神」(交わり)を日々深めていくことを信仰年の基本的課題と考えます。

午後一般公開講演会
講演会ではNPO法人レズリエンス代表の中島幸子氏をお招きし、一般公開の特別講演会を司教座聖堂で開催した。講演テーマは、「自分も隣人も大切な心を育む」と題して、DVについてさまざまな側面から話され、被害者が孤立しないように、言葉の慎重な選びと、苦しんでいる人の立場に立った細かな配慮、そして命の尊厳を理解するために、「あなた」は何にもまして大切な人である、ということをお話された。

はばたき

明けましておめでとうございます。今年も主の平安がすべての人々の上にありますように。我が家の玄関脇のツバキのつぼみもふくらんで、正月を彩ってくれるぞうです。私たちは今、信仰年を歩んでいます。昨年は高松教区の4県で「教区民の集い」が開かれました。そこで私たちは何を考え、何を待たたいでしょうか。「つどい」を前に諏訪司教様から二つの課題が出されました。一つは「どんな教会になりたいか」の深まりの継続、もう一つはそれぞれの信仰を確認し深めるための「ダイナミックなモリ」(信仰の目で自分の人生を振り返る)の黙想でした。「つどい」では分かち合いもそれによって行われたものと思えます。教会づくりに関しては働き手の少なくなっている困難な中で工夫しながら実践する事例も熱く語られ分かち合いでは参加者がそれぞれの人で出た、た苦しみや喜びを語り合い、聴き合う小さな共同体ができていました。4県それぞれ四つの種類の果実が生まれているはず。それはどのようなものでしたか。信徒減、高齢化、若者の減少などに直面し、宣教する力の衰えが感じられる中で、四国の地をキリストの光で照らしていくために私たちはどうすればよいのでしょうか。多くの課題を抱えた年の始めですが、神様に救われて生きる私たち信託一人ひとりが信仰の喜びと希望を持って、諏訪司教様のお導きの中で今年信仰年を歩んで行きましよう。

◆◆高知地区◆◆

秋晴れの朝、集いの参加者が江ノ口教会に集まって来た。今年の集いは敢えて発表、研修、講演会形式を採らず、「信仰体験をつけるひと」をテーマに黙想会形式とした。

対話 深め信仰を再確認

昨年、「どんな教会になりたいか」で、具体的な目標として掲げた教会像に従って、4つの分科会に分かれる。6〜8人の小グループが8つ出来た。そのうちの1つは在日フィリピンの方が主のグループが出来た。

宮本 匡士



講話される諏訪司教

公会議開幕50周年、カトリック教会のカテキズム発行20周年、日本26聖人殉教者列聖1

◆◆愛媛地区◆◆

愛媛地区の『教区民のつどい』は諏訪築治司教をはじめ県内の司祭、修道者、信徒ら220人が参加し、道後教会を会場に行われた。

9教会の代表がこれからの教会づくりについて熱心に話し、分かち合いではそれぞれ

教会づくり熱心に語る

た最近の動きとして

開会式では道後教会の川上栄治神父が歓迎あいさつ、愛媛地区長のファン・マヌエル神父が祝辞の後、各教会、修道会の出席者紹介があり、諏訪司教の講話、つどいが始まった。

諏訪司教は第2バチカン公会議から50年を経て、日本の教会もようやくその精神がわかるようになってきた。そして教会憲章に述べられている

◆◆香川地区◆◆

秋晴れの日曜日、11月4日豊かな自然に囲まれた霊性センター(風の丘)において香川地区教区民の集いが行われ、約120名の信者が参加した実りある大会だったと思えます。

なごやかに分かち合い

また、この詩編から黙想へと導いて下さった、村上神父さまの講話は穏やかな声と話しぶりの中に、ご自身のゆるがぬ信仰とあつい心が何れも染み入る思いで聞かせていただきました。

多田美佐江



熱心に「聴く」集い参加者

信仰のめぐみ語り合った

4県で教区民の集い

『神の民としての教会』『教会への働きかけ』への教会としての取り組みについて熱く語った。

その中では隣接幼稚園の保護者や園児のかかわりの大切さや東北の被災者支援活動の実践のほか未信者対象のキリスト教入門講座を開講し参加者があったことなどが話された。



15グループで分かち合い



3教会から集い祈りと黙想

話し聴き 共同体を実感

◆◆徳島地区◆◆

時雨の中、聖ヨゼフ鳴門、聖パウロ・三木徳島、希望の聖母阿南の3教会から四十数人が阿南教会に集まった。

初めに諏訪司教様は「みんなと一緒に過ごせるこのひと

信仰年によせて

多くの交わりに感謝する日々

私は洗礼を受けて11年になります。母がプロテスタントの信者で教会学



井原淳史氏

校に通っていたこともあり、幼少のころからキリスト教を身近なものとして受け入れてはおりました。一方で中学・高校時代に音楽や文学の影響でカトリックの存在を知りましたが、当時は漠然とした「憧れ」以上の思いはなかったと記憶しています。

長野県の大学に入学したころからカトリックの教えを本格的に学び始め、1年後に洗礼を授けられました。それからほどなくしてオルガニストとしての奉仕、中高生大会のスタッフの役割を頂き、ミサ以外の多くの面で教会とかわる機会を与えて頂きました。

最近、新居浜教会に移り、献堂75周年のミサに与ることが出来ました。新しい地でも、オルガニスト、青少年の集いなど、多くの交わりに関わらせて頂いているのも、本当に感謝です。これまで受けてきた恵みを、これからは多くの人と分かち合うことが出来るよう、改めて祈りの内に歩みたいと思

新居浜教会 井原淳史

告知板

カトリック高松教区 一第4回「女性の会」大会一 テーマ:「命をつなぐ、女性と平和」 期日:2013年1月12日(土)10:00~15:00 場所:カトリック坂出教会 講師:松浦悟朗司教(大阪教区)



神を観想し、その実りを人々に伝えよ

聖ドミニコ宣教修道女会

小教区紹介

八幡浜教会 (愛媛)

八幡浜教会は、愛媛県とくに、第一日曜日の勉の西南部八幡浜市の中心地であり、JR八幡浜駅より徒歩10分程の昭和通りにあります。

人気の石窯焼きピザ



今年、宇和島教会との親睦会は、八幡浜教会近くの自然豊かな日土地区で、石窯焼きピザ作り体験を通して親睦を深めました。

軒を借りて定期的に八幡浜を訪れ、布教活動も活発化しました。まもなく、マルシャノ神父様が引き継ぎ、昭和12年(1937)6月にもう一軒の日本式家屋を借り2階を司祭館とし、正式に『カトリック八幡浜教会』として出発し、初代主任司祭としてマルシャノ神父様が就任しました。



日本では、一年が春夏秋冬の四つの季節にはっきり分けられ、いろいろな行事が行われます。

ひと

教会の大黒柱を生きる

阿南教会 松本幸子さん

松本さんは長年に渡り、教会の財政や行事、信徒間の連絡など、何から何まで実務的な事をやってもらっていて、影で教会を支えている大黒柱です。

た時、手入れの行き届いた庭で幸せそうにしている猫の姿を見て、松本さんの人柄を感じました。



渡部康雄

神学生便り

ご降誕を待ち望み 新年を迎える



哲学科2年 ヨゼフ神学生

「待降節」は「待つ」と「降る」という二つの言葉が由来です。

『典礼奉仕』のために ⑱

「香部屋を管理すること」

高松教区典礼委員長 レナト・フィリッピニ



皆さんは、香部屋がどういう部屋なのか知っていますか。入ったことはありませんか。

香部屋は、典礼祭具が保管される場所です。使われない物があれば香部屋は物置になってしまいがちです。

日の洗足式で使うタライはどこでしょうか。待降節リースですが、収める箱にちゃんとその中身を書きましょう。

香部屋ツアーはいかがだったでしょうか。是非自分の教会の香部屋を見て、「私にできることがないか」と自分に問いかけてください。

切さとも必要も強く感じました。受け身的にゆだねるのではなく、もっと前向きにゆだねる生き方が出来れば、フィリッピニやカンボジアと比べて、大切なものが見えにくくなる日本でも、より豊かに生きていけるのではないかと思います。

若い力 遠くにいる隣人

高松教区 青年の集い

11月17日(土)～18日(日)、カトリック中島町教会で「青年の集い」が行われました。

また、迷った時に、教会、イエス・キリストを思い起こして、行動すること。そして人との出会いの素晴らしさ、分かち合いの重要さにも気づかせてもらった。

JLMMの方の報告やカンボジアに行った学生の方の話と感想を聞いて、自分の頭からうすれていたものを再確認出来たと思います。

日常生活の中で、何が正しく、どう行動・判断するか、勇気をもって動く重要さに気付いた。

司教と共に和気あいの食事

人われは祈るしかなしこの夜のマリアの御子を静かに見つめ 沫雪の華こそ咲きて眉山に真白が冴ゆる日の射すところ

芙蓉



高知 中島町教会の祭壇の前で

つなかりを大切に 懸命に生きる

今回、フィリッピニアの話を見せてもらいましたが、前回に行ったのが2年前ということもあり、

また、迷った時に、教会、イエス・キリストを思い起こして、行動すること。そして人との出会いの素晴らしさ、分かち合いの重要さにも気づかせてもらった。

高橋 隆

医療のともしび (36)

聖マリア、今も臨終のときも 祈り給え

認知症を病むと、認知の障害は進行し、深まっ
ていく。ところが幸か不幸か、感情領域の障害は、
認知障害と並行して同じように低下するわけでは
ない。もし世間の大方が誤解しているように、
「ぼければ、何もわからなくなるから本人は楽な
ものだ。周囲は困り果てるのだが」という考え
が正しいようなら、つまり知的能力の低下と並行
して、感情障害も深まり感情が枯渇していくの
ならば、彼らはそんなに追いつめられないですむ
のかもしれない。しかし実際は全く違う。

認知症を病む人たちの多くは、徐々に「できない
こと」が増えていくのだが、一方でそのことを漠
然とではあれ感じる能力は保持されている。自分
が人に迷惑をかけていることも、自分が周囲か

らどのようにみられ扱われているかということも、
彼らはとても敏感に感じとっている、そして不安
に陥り、怯えている。

『彼らは個々のつまずきには恬淡たる態度をとっ
て、心配する周囲を鼻白ませることが多いのだが、
ときに暗澹たる表情で「ぼけていく」「消しゴム
で消していくように(記憶が)消えていく」「暗
い穴に落ちていくようだ」などといい、周囲に返
す言葉を失わせるようなことがある。』小澤 薫
<認知症とは何か>より。

私自身が高齢となり、物忘れ、思考の乱れが多
くなり、医師としての私が、自分自身を、認知症な
のか、老人性の物忘れなのか考えている今日この
頃である。聖マリア今も臨終のときも祈りたまえ。

カトリック医師会 橋本 雍

教区スケジュール

- 1月 1日 (火) 元日 神の母聖マリア 祭 世界平和の日
2日 (水) 聖バジリオ 聖グレゴリオ (ナジアンズ) 司教
教会博士(記)
6日 (日) ご公現の祝日
12日 (土) 女性の集いin坂出
13日 (日) 主の洗礼(祝) 司祭評議会in塩江 (13日~14日)
14日 (月) 成人の日
20日 (日) 年間第2主日 (エキュメニカルの日曜日)
21日 (月) (青少年) 釜ヶ崎訪問 (~22)
26日 (土) 宣教司牧評議会役員会 13:00
27日 (日) 年間第3主日
2月 2日 (土) 主の奉献(祝)
3日 (日) 年間第4主日
6日 (水) 司祭評議会12:00
10日 (日) 年間第5主日
11日 (月) 建国記念の日
13日 (水) 灰の水曜日
17日 (日) 四旬節第1主日
24日 (日) 四旬節第2主日

TSC 便り

昨年も、個人、グループそして小教区単位でと、
教区民の皆さまを挙げての支援を続けて頂き、高松
教区サポートセンターとして心から感謝申し上げます。

時間の経過と共に支援への機運が当初に比べて薄
れて来ていますが、皆様方の温かく変わらぬご協力
は力強く続いています。

また、冬の到来で、ボランティア活動が自然と制
限されることや、何かと障壁となるものがたくさん
ありますが、私たち高松教区は小さくても有益で個
人として容易に参加できる「お米券キャンペーン」
を引き続き行って参りましょう。

*これまでの大船渡ベースの活動状況を記録した
DVDを各小教区宛に配布しています。積極的に活
用し、今後の支援に役立てて下さいませように。

高松教区サポートセンター
大阪教区管区 大船渡プロジェクト
(2011年12月~)
お米券キャンペーン!
被災された人々へ
TSC
ボランティア募集中!

支援の豆腐 納豆はのかが

サアサ皆さん、「巨理
豆腐」を買ってください!
ある老夫婦が日曜日の
ミサの後、桜町教会の玄
関で「巨理豆腐」や「納
豆」を販売しています。

仙台市に着きました。ニュー
ス等で各地域の被害の様
子を見聞きしてはいたの
ですが実際に見てその被
害の大きさに驚かされま
した。

毎回完売 ありがたい皆さんの協力



豆腐も順調な売れ行きの様子

それは東日
本大震災6ヶ
月後の昨年9
月11日のこ
とです。その
ある老夫婦は
岩手県奥州市
の水沢教会
(義母の出身)
と奥州市共催
で『後藤寿庵
(400年前、
近くを流れて
いる胆沢川に
堰を造って水
を引き、砂漠
のようだった
荒れ地を水田
にさせた)』
『リシタン』
400年記念
式典』に参加
しました。
『溝部司教様
の後藤寿庵
について』の
講演』を聴講
しました。それ
から盛岡
陸前高田、大船
渡、釜石
と震災によっ
て甚大な被
害を受けた地
域を巡って

るを得なくなりました。
しかし幸運にも、海水を
かぶった農地でも大豆は
栽培できることが確認出
来ました。そして収穫し
た大豆をマルト食品株式
会社(豆達人)が継続的
に買い上げてくださるこ
とが決まりました。この
ことにより、農家の方
々の営農意欲が高まると
共に地域の雇用も確
保されるので、災害復興
に役立てて下さいますように。

野田ご夫妻の話は、自分たちも
「東日本の継続的復興の
お手伝いしよう」と心に
決めました。自分たちは
年齢の割に神様より健康
なお恵みを頂いているの
で、お手伝いすることに
よって、かえって心の平
和を味わえることが出来
るからです。
今まで4回程販売し、
皆様のご協力により毎回
完売しています。豆腐、
納豆とも最高品と喜ばれ
ています。
これからは毎月最終の
日曜日のミサ後に販売し、
東日本大震災で被災され
た方々へ真心の支援を届
けたいと願っています。
皆様、どうぞ奮って買い
あげ下さい。

主の御降誕を周りの人々と祝う

12月2日桜町聖堂において朗読劇と音楽の
夕べが開催された。第1部は司祭によるクリ
スマスメッセージを以て幕を開けた。つづく
朗読劇「蟻の町のマリア」は、イエスが身を以
て小さな貧しい人々に尽くす愛の姿と、その
愛を現実の世界で実践された北原聡子さんの
姿とを重ね合わせることを通して、各々自分
にできる奉仕へと人々を招いた。

第2部は”
音楽の調べ”
と銘打ち、社
会学校の子どもとさくらコール

推薦映画紹介

『レ・ミゼラブル』
ミュージカル劇として27
年間という驚異的なロング
ランを続けるフランスの文
豪ヴィクトル・ユーゴーの
大河小説。 延べ6千万人
を超える観客を動員した不
朽の名作が、このたびミュ
ジカル映画としてスクリー
ンに登場した。この作品に
は人の「生」につきまとう
様々な人間模様が描かれて
いる。
しかしその基底を流れるのは、神への

桜町教会
朗読劇と音楽の夕べ

会で音楽活動をされている方々の協力得て、
バッハのオルガン曲や、マリンバそしてクラ
リネットによる演奏が続き、最後に桜町教会
学校の子どもたちと桜町教会聖歌隊さくら
コールによるクリスマス
聖歌の響きがプレゼントさ
れた。



「蟻の町のマリア」の1シーン

クリスマスは周りの人々を教会に招く絶好
の機会だ。毎年待降節にはこうした催しやコ
ンサート等が企画されているが、そこに留ま
らず、招かれた人々への積極的
な宣教姿勢を云う真剣に
向き合う時が来ている様
子である。

12月21日からワーナーマイカ
ルシネマなどで全国一斉ロードショー!
カトリック中央協議会・秘書室 広報

キリスト受難を黙想



3cm、姿をより細かく見
れば手と足に釘によると
書のイエス・キリストの
受難を思わせるものがあ
りました。
驚いたのは、その布
が写真でいう「ネガ」
の状態であることです。
その布を写真機で撮影
すると鮮明な人物の姿
が表れるというものであ
ったのです。

聖骸布の信憑性につ
いては、様々な意見が
ありますが、私達は今
回、一般の方々のキリ
スト教への関心へのきつ
かけ、信者の方々に
イエスの死と復活の神
秘への黙想にと考えまし
た。

医療法人翼医院
高松市茜町16-12 ☎(087)837-5800

医療法人社団聖心会 阪本病院
院内保育園完備
http://www.idm-hcg.co.jp/sukemoto/

暁の星学園
鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園
阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園

編集後記
典礼暦年と共に太陽
暦も新しい年が始まり
ました。
トップ記事にもあり
ました。今年には色々
な節目の年です。生活
のすべてを、社会での
立場を信仰をもとに見
直すチャンスとして、
恵みを受け止めていき
たいものです。
今年も一年、教区の方
向性を見極めながら
教区報編集に携わって
参りたいと思っております。
教区民の皆様のご協力
を宜しくお願いいたし
ます。(J)